

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		すこやか育児相談					所管	健康部 保健サービス課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	203	計画事業名	親と子の相談事業の充実					事業の開始・終了年度
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-2. 次の世代の育成 [小 柱] (1)安心して子育てできる環境づくり [施 策] ②子どもの健やかな育ちの支援					[事業開始]	平成17年度		
							[終了予定]	- 年度		
	根拠法令等	法令(義務)	〔法令等名〕			母子保健法第9条・第10条				
	事業対象	直接の対象 : 乳幼児をもつ家庭 最終的な対象 : 乳幼児								
	事業目的	保護者が相談できる機会や集う場所を提供することで、育児不安の軽減や保護者の孤立化の防止、また支援が必要な家庭の早期発見・早期介入につなげ、乳幼児のすこやかな育成を図る。								
	事業内容 [29年度]	1. 育児相談:①1~3か月の育児相談 ②1歳半からの育児相談 ③出張育児相談 2. 育児心の悩み相談:子育て心理相談 3. 特別な支援を必要とする親子への支援:外国人親子への通訳派遣 4. おやこる一む:親子の交流の場としての会場開放								
	委託の有無	一部委託	委託内容			外国人親子への通訳派遣を委託				
補助金の有無	都									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績		達成率
	活動指標	育児相談回数		回	119	119	119	118	119	99.2%
		育児心の悩み相談		回	36	24	36	35	36	97.2%
	成果指標	育児相談参加人数		人	3,000	3,611	3,157	3,308	3,000	110.3%
		育児心の悩み相談参加人数		人	100	118	75	49	100	49.0%
	決算額 (単位:千円)					27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト (人件費など)				1,166		1,180		1,107
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				14,436		16,040		8,799
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				1,136		1,180		1,107
		総経費				30		0		0
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				0		0		0	
	その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				573		564		0	
	一般財源 (区負担額)				15,029		16,656		9,906	
前回評価から29年度に改善した事項	必要な方に利用していただけるよう子育てメルマガ等を活用し周知を行った。また育児相談の中で保護者同士が交流を図れるよう保健師が意識的に声かけを行った。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	育児不安の軽減や虐待防止の観点から本事業の必要性は高い。							
	効率性	3	親子にとって身近で出かけやすい場所を活用して相談を行ったり、複数の事業を同日開催することで託児しながら保護者がゆっくり相談できる等の体制整備を行っている。							
	手段の適切性	3	様々な専門職による相談を行うことで保護者の悩みに合った支援を行うことができている。							
目的達成度	2	育児心の悩み相談の参加人数が年々減少しているため、必要がある方に情報が届くようにメルマガも活用して周知を徹底していく。またキャンセル等で相談につながらなかった方については地区担当保健師が継続して関わり、必要な時に当事業につながるよう支援していく。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
専門職による相談や親子が集える場を提供することは、育児不安の軽減や孤立化を防ぐことにつながっている。今後も引き続き、保護者が安心して子育てし、乳幼児が健やかに成長していけるよう本事業を実施していく必要がある。育児心の悩み相談については、必要がある方に情報が届くよう、メルマガも活用して周知を徹底していく。						改善		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		